

## 第148回 日商2級解答速報

### 第1問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
1	買掛金	5,000,000	現金 仕入割引	4,995,000 5,000
2	備品減価償却累計額 貯蔵品 固定資産除却損	720,000 50,000 30,000	備品	800,000
3	その他資本剰余金 繰越利益剰余金	900,000 600,000	資本準備金 利益準備金	900,000 600,000
4	売上割戻引当金 売上	10,500 7,500	普通預金	18,000
5	為替差損益	800,000	売掛金	800,000

仕訳一組につき4点。合計20点。

第2問 (20点)

問1

売買目的有価証券

日付			摘要	借方	日付			摘要	貸方	
②	29	2	1	当座預金	294,000	29	10	1	当座預金	98,000
②		12	31	有価証券評価益	1,600		12	31	次期繰越	197,600
					295,600					295,600

満期保有目的債券

日付			摘要	借方	日付			摘要	貸方	
②	29	4	1	当座預金	591,000	29	12	31	次期繰越	592,350
②		12	31	有価証券利息	1,350					
					592,350					592,350

有価証券利息

日付			摘要	借方	日付			摘要	貸方	
	29	2	1	当座預金	100	29	6	30	当座預金	600
②		12	31	損益	5,050		10	1	当座預金	100
							12	31	当座預金	400
								"	未収有価証券利息	2,700
								"	満期保有目的債券	1,350
					5,150					5,150

問2

②	有価証券売却 ( 益 )	¥	600
---	--------------	---	-----

○印…予想配点

## 第3問 (20点)

(単位：千円)

科 目	個別財務諸表		修正・消去		連結財務諸表
	P 社	S 社	借 方	貸 方	
貸借対照表					
現金預金	180,000	65,000			245,000
売掛金	480,000	220,000		180,000	520,000
商品	370,000	165,000		42,000	② 493,000
未収入金	80,000	13,000		18,000	75,000
貸付金	150,000			60,000	90,000
未収収益	12,000			900	11,100
土地	165,000	36,000		6,000	② 195,000
建物	50,000				50,000
建物減価償却累計額	△24,000				△24,000
(のれん)			80,000	4,000	② 72,000
				4,000	
S社株式	200,000			200,000	—
資産合計	1,663,000	499,000	80,000	514,900	1,727,100
買掛金	181,000	205,000	180,000		② 206,000
借入金	125,000	70,000	60,000		135,000
未払金	120,000	42,000	18,000		② 144,000
未払費用	88,000	2,000	900		89,100
資本金	226,000	100,000	100,000		226,000
資本剰余金	123,000	20,000	20,000		123,000
利益剰余金	800,000	60,000	30,000		① 768,000
			4,000		
			1,200		
			918,300	861,500	
非支配株主持分				30,000	① 36,000
				1,200	
				4,800	
負債純資産合計	1,663,000	499,000	1,332,400	897,500	1,727,100
損益計算書					
売上高	1,560,000	1,080,000	860,000		1,780,000
売上原価	1,014,000	767,000	42,000	860,000	② 963,000
販売費及び一般管理費	465,000	288,000			753,000
(のれん)償却			4,000		② 4,000
受取利息	5,200	800	1,500		4,500
支払利息	4,000	1,800		1,500	② 4,300
土地売却益	6,000		6,000		—
当期純利益	88,200	24,000	913,500	861,500	60,200
非支配株主に帰属する当期純利益			4,800		4,800
親会社株主に帰属する当期純利益	88,200	24,000	918,300	861,500	② 55,400

○印…予想配点

第4問 (20点)

	仕		訳	
	借方科目	金額	貸方科目	金額
(1)	仕掛品	1,536,000	材 料	1,536,000
(2)	仕掛品	405,000	製造間接費	405,000
(3)	仕掛品	186,000	現 金	186,000
(4)	製 品	1,262,000	仕 掛 品	1,262,000
(5)	原価差異	17,000	製造間接費	17,000

仕訳一組につき4点。合計20点。

第5問 (20点)

問1 

②	4,550
---	-------

 円/時間

問2

組別総合原価計算表 (単位:円)

	A 製 品		B 製 品	
	原料費	加工費	原料費	加工費
月初仕掛品原価	187,000	63,500	497,500	217,500
当月製造費用	3,200,000	( 2,047,500 )	6,195,000	( 3,640,000 )
合 計	( 3,387,000 )	( 2,111,000 )	( 6,692,500 )	( 3,857,500 )
月末仕掛品原価	(② 320,000 )	(② 105,000 )	(② 1,050,000 )	(② 260,000 )
完成品総合原価	(② 3,067,000 )	(② 2,006,000 )	(② 5,642,500 )	(② 3,597,500 )

問3 

②	3,360
---	-------

 円/kg

○印…予想配点

(注意) 解答速報はTAC(株)が独自の見解に基づき、サービスとして情報をご提供するものです。本試験の結果等(合格基準点・可否)について保証するものではありません。尚、解答速報の内容につきましては予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

## 【2級解説】

## [第1問] 勘定指定の仕訳5題

## 1. 仕入割引

買掛金を割引き有効期限内に早期に決済した場合、利息相当額の免除が受けられます。これは受取利息と同じ性質の仕入割引勘定（収益）で処理します。

仕入割引：5,000,000円×0.1%=5,000円

## 2. 有形固定資産の除却

固定資産の勘定（取得原価）と減価償却累計額を減少させ、帳簿価額を取り消します。除却した固定資産の処分価額は貯蔵品勘定で処理をし、差額を固定資産除却損（費用）とします。

## 3. 株主資本の計数の変動

株主資本の計数の変動とは、株主資本を構成する「資本金」「準備金」および「剰余金」の中で、ある科目から別の科目へ振り替える（①ある科目の残高を減らして②別の科目の残高を増やす）ことにより、株主資本の内訳を変更することをいいます。なお、「剰余金」を「準備金」に組み入れる場合、もとでを源泉とするその他資本剰余金なら資本準備金へ、もうけを源泉とする繰越利益剰余金なら利益準備金に組み入れます。

## 4. 売上割戻引当金

売上割戻の対象期間が前期と当期にまたがる場合、前期分の売上割戻については、売上割戻引当金を取り崩し、当期分の売上割戻については売上（収益）を減らします。

割戻額：1,200,000円×1.5%=18,000円

## 5. 外貨建取引（為替予約）

外貨建金銭債権債務を為替予約にもとづく先物為替相場（予約レート）による円換算額に換算替えします。また、それにともなって生じた差額は為替差損益とします。

113円/ドル<先物為替相場>×400,000ドル－115円/ドル<直物為替相場>×400,000ドル＝△800,000円<差損>

## [第2問] 有価証券の取引

## 1. 2月1日：売買目的有価証券（国債）の取得

（売買目的有価証券）	294,000	（当座預金）	294,100
（有価証券利息）	100		

## 2. 4月1日：満期保有目的債券（社債）の取得

（満期保有目的債券）	591,000	（当座預金）	591,000
------------	---------	--------	---------

## 3. 6月30日：売買目的有価証券（国債）の利払日

（当座預金）	600	（有価証券利息）	600
--------	-----	----------	-----

## 4. 10月1日：売買目的有価証券（国債）の一部売却

（当座預金）	98,700	（売買目的有価証券）	98,000
		（有価証券売却益）	600
		（有価証券利息）	100

ここで、売買目的有価証券（国債）の額面残高が200,000円（＝300,000円－売却分100,000円）になっていることに注意してください。

## 5. 12月31日：売買目的有価証券（国債）の利払日

（当座預金）	400	（有価証券利息）	400
--------	-----	----------	-----

## 6. 12月31日：決算整理

## (1) 売買目的有価証券（国債）

（売買目的有価証券）	1,600	（有価証券評価益）	1,600
------------	-------	-----------	-------

## (2) 満期保有目的債券（社債）

## ① 未収有価証券利息の計上

（未収有価証券利息）	2,700	（有価証券利息）	2,700
------------	-------	----------	-------

## ② 償却原価法（定額法）

（満期保有目的債券）	1,350	（有価証券利息）	1,350
------------	-------	----------	-------

## 7. 12月31日：決算振替と帳簿の締め切り

（有価証券利息）	5,050	（損益）	5,050
----------	-------	------	-------

[第3問] 連結精算表の作成

本問は、連結第2年度における連結会計の手続き（支配獲得日後2期目の連結）を問う問題となっています。

I タイムテーブル<S社の純資産の推移>（単位：千円）

	×0.3.31		×1.3.31	当期	×2.3.31
P社持分割合	80%	→	80%	→	80%
非支配株主持分割合	20%	→	20%	→	20%
資本金(*1)	100,000		100,000		(*6) 100,000
資本剰余金(*1)	20,000		20,000		(*6) 20,000
利益剰余金(*1)	30,000	利益(*9) +6,000 → (*8)	36,000	利益(*7) +24,000 → (*6)	60,000
純資産合計	150,000		156,000		180,000
取得持分(*2)	120,000				
取得原価(*3)	200,000				
のれん(*4)	80,000	償却(*5) △4,000 →	76,000	償却(*5) △4,000 →	72,000

過去のデータに基づき開始仕訳を行います

当期のデータに基づき期中仕訳を行います

(\*1) 資料1より

(\*2) 150,000千円<純資産合計>×80%<P社持分割合>=120,000千円<取得持分>

(\*3) 資料1またはP社B/SのS社株式より

(\*4) 200,000千円<S社株式の取得原価>-120,000千円<取得持分>=80,000千円<のれん>

(\*5) 80,000千円<のれん>÷20年=4,000千円<のれん償却額>

**ここがPoint!!**

支配獲得日後1期目の増加利益剰余金(1期目の当期純利益)は次のように推定できます。

(\*6) S社B/Sの当期末残高より

(\*7) S社P/Lの当期純利益より

(\*8) 60,000千円<利益剰余金期末残高>-24,000千円<当期純利益>=36,000千円<利益剰余金期首残高>

(\*9) 36,000千円<利益剰余金期首残高>-30,000千円<支配獲得日の利益剰余金>

=6,000千円<増加利益剰余金(1期目の当期純利益)>

II 連結修正仕訳（仕訳の単位：千円）

1. 開始仕訳

(1) 支配獲得日(×0年3月31日)の連結修正仕訳 ~ 投資と資本の相殺消去

開始仕訳における純資産項目は、当期の連結株主資本等変動計算書(S/S)の当期首残高に影響を与えることになるため、科目に「当期首残高」を付けて仕訳を行いますが、本問では、連結S/Sの作成が要求されていないことから、効率よく解答するために、あえて純資産の科目に「当期首残高」や「当期変動額」などS/Sの科目を使わずにB/Sの科目で連結修正仕訳を行うことが、実践的な解き方と言えます。解答時間の短縮にもつながるので、試してみましょう。

(資 本 金)	100,000	(S 社 株 式)	200,000
(資 本 剰 余 金)	20,000	(非 支 配 株 主 持 分) (*2)	30,000
(利 益 剰 余 金)	30,000		
(の れ ん) (*1)	80,000		

(\*1) 100,000千円+20,000千円+30,000千円=150,000千円<×0年3/31のS社純資産合計>

150,000千円×80%<P社持分割合>=120,000千円<取得持分>

200,000千円<S社株式の取得原価>-120,000千円=80,000千円

(\*2) 150,000千円×20%<非支配株主持分割合>=30,000千円

(2) x0年度(x0年4月1日~x1年3月31日)の連結修正仕訳

開始仕訳における損益計算書項目は、当期の連結株主資本等変動計算書の「利益剰余金(当期首残高)」に影響を与えることになるため、科目を置き換えて仕訳を行います。

① のれんの償却

(利益剰余金)	(*)	4,000	(のれん)	4,000
のれん償却				

(\*) 80,000千円÷20年=4,000千円

② 子会社当期純利益の非支配株主持分への振替え

(利益剰余金)	(*)	1,200	(非支配株主持分)	1,200
非支配株主に帰属する当期純利益				

(\*) 6,000千円<x0年度S社当期純利益>×20%=1,200千円

(3) 開始仕訳のまとめ((1)+(2))

(資本金)	100,000	(S社株式)	200,000
(資本剰余金)	20,000	(非支配株主持分)	31,200
(利益剰余金)	35,200		
(のれん)	76,000		

2. 期中仕訳:x1年度(x1年4月1日~x2年3月31日)の連結修正仕訳

(1) のれんの償却

(のれん償却)	(*)	4,000	(のれん)	4,000
---------	-----	-------	-------	-------

(\*) 80,000千円÷20年=4,000千円

(2) 子会社当期純利益の非支配株主持分への振替え

(非支配株主に帰属する当期純利益)	(*)	4,800	(非支配株主持分)	4,800
-------------------	-----	-------	-----------	-------

(\*) 24,000千円<x1年度S社当期純利益>×20%=4,800千円

(3) 売掛金と買掛金の相殺消去

(買掛金)	180,000	(売掛金)	180,000
-------	---------	-------	---------

(4) 貸付金と借入金の相殺消去

(借入金)	60,000	(貸付金)	60,000
-------	--------	-------	--------

(5) 未収入金と未払金の相殺消去

(未払金)	18,000	(未収入金)	18,000
-------	--------	--------	--------

(6) 未収収益と未払費用の相殺消去

(未払費用)	900	(未収収益)	900
--------	-----	--------	-----

(7) 売上高と売上原価の相殺消去

(売上高)	860,000	(売上原価)	860,000
		当期商品仕入高	

(8) 受取利息と支払利息の相殺消去

(受取利息)	1,500	(支払利息)	1,500
--------	-------	--------	-------

(9) 期末商品に含まれる未実現利益の消去(ダウン・ストリーム)

「利益付加率」ではなく、「売上総利益率」が問題資料に与えられているので、見誤らないように注意しましょう。

(売上原価)	(*)	42,000	(商品)	42,000
--------	-----	--------	------	--------

(\*) 140,000千円<S社期末商品のうちP社からの仕入分>×30%<売上総利益率>  
=42,000千円<未実現利益>

(10) 土地に含まれる未実現利益の消去(ダウン・ストリーム)

(土地売却益)	(*)	6,000	(土地)	6,000
---------	-----	-------	------	-------

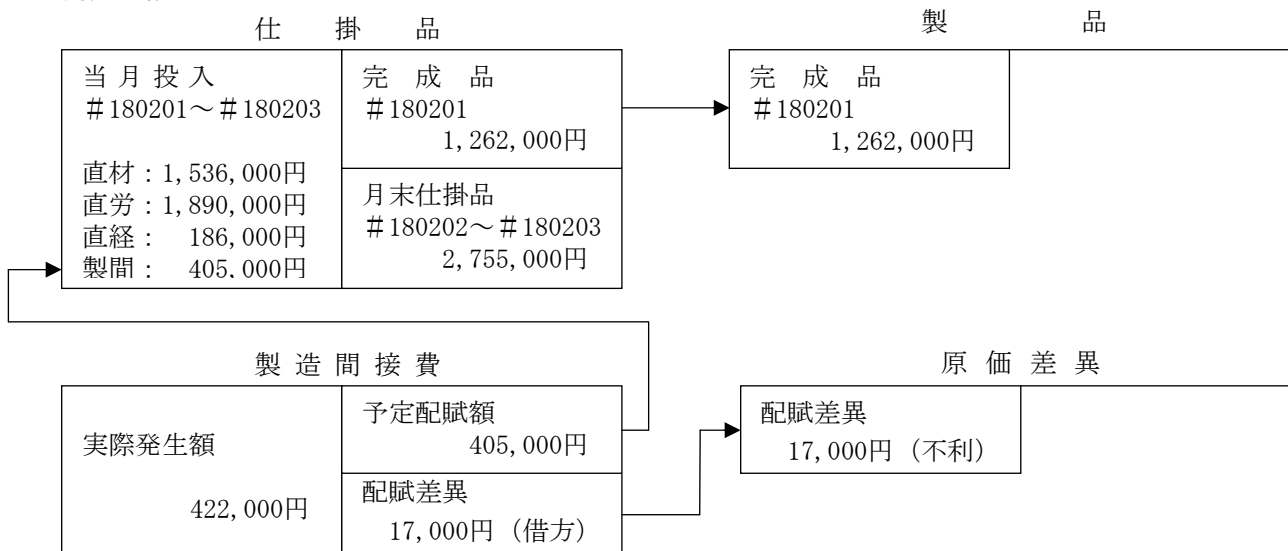
(\*) 36,000千円<売却価額>-30,000千円<P社の取得原価>=6,000千円<未実現利益>

[第4問] 単純個別原価計算

1. 原価計算表 (総括表)

	#180201	#180202	#180203	合計
直接材料費	480,000	624,000	432,000	1,536,000
直接労務費	644,000	854,000	392,000	1,890,000
直接経費	—	186,000	—	186,000
製造間接費	138,000	183,000	84,000	405,000
合計	1,262,000	1,847,000	908,000	4,017,000
備考	完成	仕掛中(未完成)	仕掛中(未完成)	

2. 勘定連絡図



[第5問] 組別総合原価計算

1. 加工費の予定配賦

予定配賦率:  $\frac{\text{加工費予算額 (年間) } 81,900,000\text{円}}{\text{予定直接作業時間 (年間) } 18,000\text{時間}} = @4,550\text{円/時間}$

組A製品への予定配賦額:  $4,550\text{円/時間} \times 450\text{時間} = 2,047,500\text{円}$

組B製品への予定配賦額:  $" \times 800\text{時間} = 3,640,000\text{円}$

2. 各組製品原価の計算 (先入先出法)

